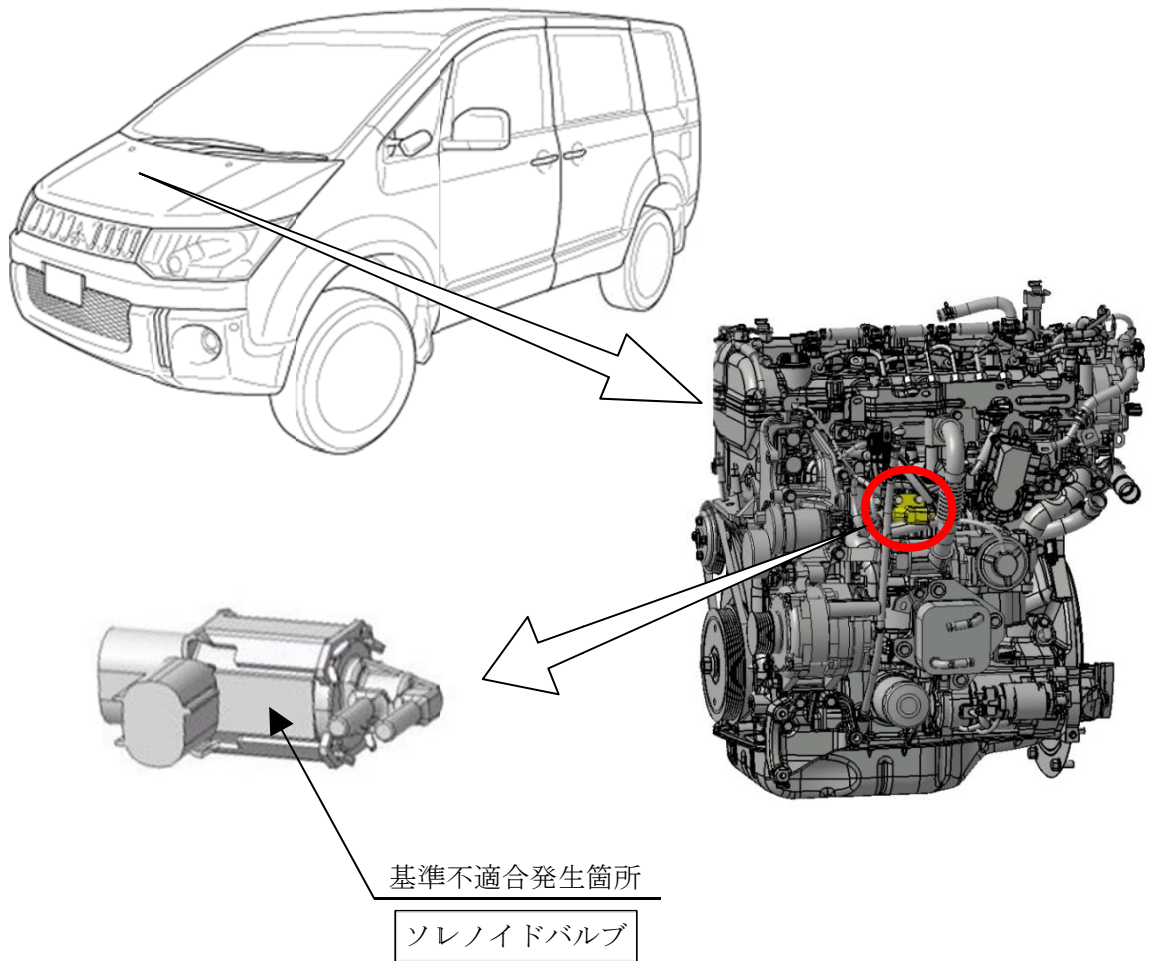


改善箇所説明図



ディーゼルエンジン車の排気ガス再循環 (EGR) クーラーバイパスバルブを制御するソレノイドバルブにおいて、当該バルブの使用環境に対する外装樹脂材の選定が不適切なため、内部のコイル線との熱膨張差が大きく、コイル線に繰り返し過大な応力がかかることがある。そのため、そのまま使用を続けると、コイル線が断線し、エンジン警告灯が点灯するとともに、フェールセーフによりEGR制御が停止し、最悪の場合、窒素酸化物の排出量が増加するおそれがある。

改善の内容

全車両、当該ソレノイドバルブを対策品と交換する。

注：図中の 内は、交換する部品を示す。

識別：運転者席側フードヒンジ上側のボルト先端に、白または黄色ペイントを塗布する。